

MM MRD				3326000	
				担当部署	
FCM BM				血液	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項			特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報			非特異反応によって正しい結果が得られない場合がある。		
検査受付時間			8 : 15～16 : 00		
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項			特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング			特記事項なし		
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	骨髓	B M院内用	EDTA-2K	2	mL
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件			室温		
検体受入不可基準			1) 採取容器違いの検体 2) 凝固検体 3) 採血量不足の検体 4) サンプリングできない検体		
保管検体の保存期間			室温・当日中（追加検査については、検査室に要問合せ）		
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中				
生物学的基準範囲		該当なし				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	%
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値		高値	設定なし			
		低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		骨髄細胞の状態を評価するために、MRD（minimal residual disease）解析は非常に重要である。MRD 解析は、がん治療後の患者の骨髄中に、がん細胞が残っているかどうかを検出するための方法である。FCM（flow cytometry）を用いた MRD 解析は、非常に高い感度で、極めて少量のがん細胞を検出できる。この技術を使用することで、がんの再発を早期に発見することができ、治療法を迅速に調整することができる。また、治療の効果を評価するためにも使用され、治療開始前と比較して、治療後に骨髄中のがん細胞が減少したことが確認されると、治療の有効性が証明される。したがって、FCM による MRD 解析は、がん患者の治療法の最適化に不可欠な臨床的な手法である。				
		Pulsipher MA, Carlson C, Langholz B, et al. IgH-V(D)J NGS-MRD measurement pre- and early post-allotransplant defines very low- and very high-risk ALL patients. Blood. 2015;125(22):3501-3508. doi:10.1182/blood-2015-02-629032				
		MRD in ALL: Optimization and Innovations Curr Hematol Malig Rep. 2022 Aug;17(4):69-81. doi: 10.1007/s11899-022-00664-6. Epub 2022 May 26.				